

## 平成28年度学校経営計画重点課題

### 1 「学力向上に向けて」

- ① 27年度から開始したグローバル人材育成の取り組みの充実を下記の通り推進する
  - ・ 21世紀型のアクティブラーニング授業を本格的に全校レベルで開始し、生徒が自ら学ぶ姿勢を更に開発し教育の質を高める
  - ・ 世界に通用する「実践的英語力」を目指した教育内容を発展させ、具体的に実践すると共にその成果を検証するシステムを充実させる。
  - ・ 多様で質の高い授業展開を目指して、電子黒板・タブレットなどのICTを充分活用した指導法を更に開発し、研修に力を注ぐ。
  - ・ 開設初年度のグローバルリーダーズクラスに課された教育プログラムを計画通りに推進する。
- ② 大学入試改革に備えて十分に研究し、先進的で的確な進路指導を進め、受験生が未来社会で活躍できる進路選択実現のための対応策を作成する。
- ③ 生徒1人1人の進路意識の向上の為に工夫を活発化させ、校内でその情報を共有しながらきめ細かい指導を行い、進路実現を確実なものへと導く。

### 2 「生きる力育成に向けて」

- ① スーパーグローバルハイスクールの生徒像に求められる資質を全校で理解し、必要なスキルアップを確実に実践する。
- ② 将来社会人として必要な生活の基本である「7つのルール」を徹底する。全教員による丁寧な対面教育を心がけ、全ての生徒が「あいさつ」「校内美化」「遅刻防止」の基本的な生活習慣の基礎をしっかりと身につくよう指導する。
- ③ 道徳教育、キャリア教育、ピア・サポート学習は教則にのっとり全校でベクトルを統一する。「豊かな心」を養い、自他共に誇りをもてる学校づくりを目指す。
- ④ 教育活動において「目標に向かって最後まで諦めずに努力する姿勢」を培える場面を多様に配置する。

### 3 「学校教育環境の整備と質向上に向けて」

- ① 常に前進する学校としてハード、ソフト両面で教育環境革新を怠らず、校内で共有すると共に、学外に向けた発信を活性化させる。
- ② 生徒の安全を守る為の防災・防犯体制の確認、検証を続ける。
- ③ 学校経営計画を策定し、学校評価を実施することを通して、学校の自律的な改善・改革と教育活動の質的向上を図る。
- ④ 「開かれた学校」を目指し、保護者、外部への情報公開を進めて、相互理解と連携を深める。
- ⑤ 組織的に広報発信と広聴に努め、地域懇談会を開いて地域との連携を深める。  
また、地域活動にも積極的に参加し、理解を深めることで本校の存在価値への支援を得る努力を積み重ねる。